

大阪市立大学大学院経済学研究科

経済格差研究センター研究員

大西 祥恵

表1 問1 年齢は、おいくつですか

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| 20歳未満 | 0 | 0.0 |
| 20-24歳 | 0 | 0.0 |
| 25-29歳 | 1 | 1.3 |
| 30-34歳 | 0 | 0.0 |
| 35-39歳 | 3 | 3.8 |
| 40-44歳 | 6 | 7.5 |
| 45-49歳 | 9 | 11.3 |
| 50-54歳 | 13 | 16.3 |
| 55-59歳 | 27 | 33.8 |
| 60-64歳 | 19 | 23.8 |
| 65-69歳 | 2 | 2.5 |
| 70-74歳 | 0 | 0.0 |
| 75歳以上 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 80 | 100.0 |

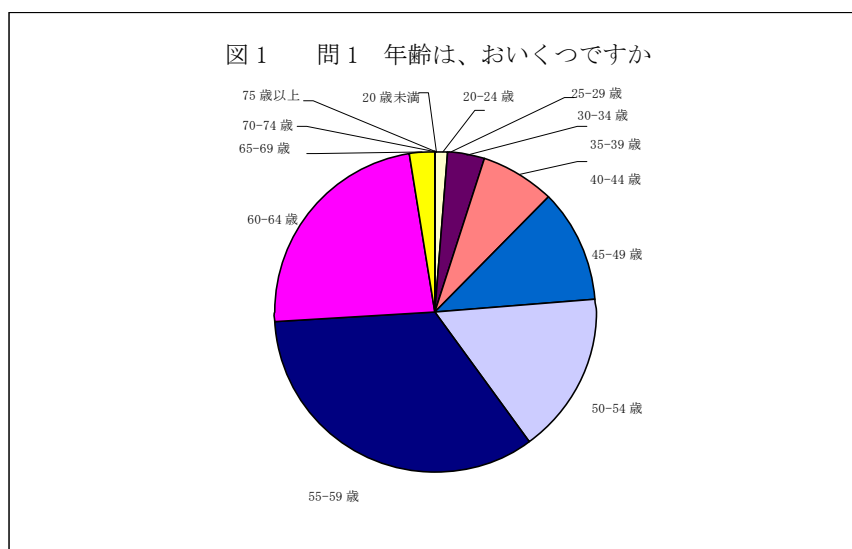
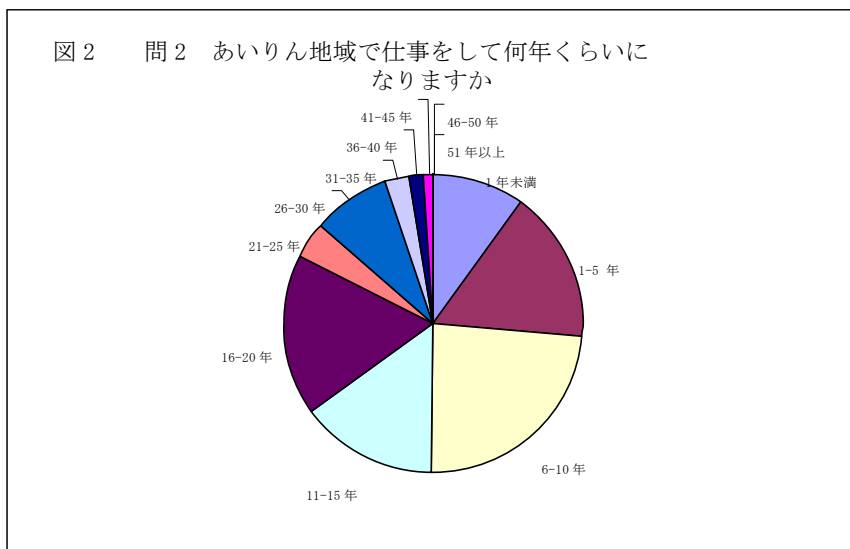


表 1、図 1 は、年齢についてみたものである。最も多かったのは「55-59 歳」で 33.8%、次に多いのが「60-64 歳」で 23.8%となっており、50 代後半から 60 代前半にかけての者が半数以上を占めている。続いて多いのが「50-54 歳」、「45-49 歳」で、それぞれ 16.3%、11.3%となっている。つまり、45 歳代以上 65 歳未満の者が 8 割 5 分を占めているのである。

表 2 問 2 あいりん地域で仕事をして何年くらいになりますか

| 年数 | 人数 | 割合 |
|---------|----|-------|
| 1 年未満 | 8 | 10.0 |
| 1-5 年 | 13 | 16.3 |
| 6-10 年 | 19 | 23.8 |
| 11-15 年 | 12 | 15.0 |
| 16-20 年 | 14 | 17.5 |
| 21-25 年 | 3 | 3.8 |
| 26-30 年 | 7 | 8.8 |
| 31-35 年 | 2 | 2.5 |
| 36-40 年 | 1 | 1.3 |
| 41-45 年 | 1 | 1.3 |
| 46-50 年 | 0 | 0.0 |
| 51 年以上 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 80 | 100.0 |



あいりん地域で仕事をして何年くらいになるかを問うたところ、最も多かったのは

「6-10年」で23.8%と4分の1弱を占めていた（表2、図2）。また、「16-20年」、「1-5年」、「11-15年」と回答した者もそれぞれ17.5%、16.3%、15.0%と一定数をしめていることがわかる。

時期としては、バブル経済崩壊後にあいりん地域で仕事を始めた者が半数以上を占めているが、バブル経済期にあいりん地域で仕事をするようになった者も1割7分ほどみられる。さらに「36-40年」という者も1人いたが、これは高度成長期後半から第一次オイルショックの時期にあたる。

表3 問3 現在、住んでいるのは、あいりん地域内ですか

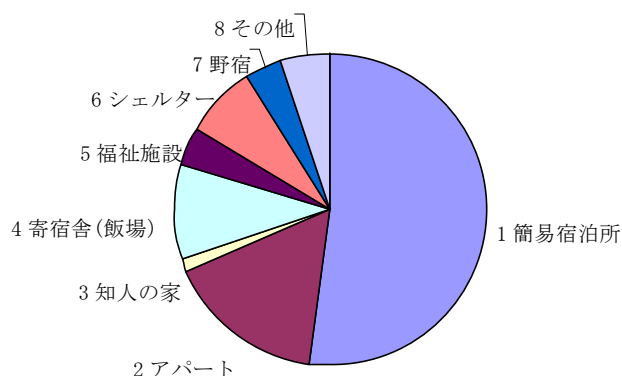
| | 人数 | 割合 |
|-----|----|-------|
| はい | 64 | 80.0 |
| いいえ | 16 | 20.0 |
| 合計 | 80 | 100.0 |

表3は、現在住んでいるのはあいりん地域内かを聞いた結果であるが、「はい」と回答した者が64人（80.0%）と多数を占めていた。

表4 問4 最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りしたのはどこですか

| | 人数 | 割合 |
|-----------|----|-------|
| 1 簡易宿泊所 | 41 | 51.9 |
| 2 アパート | 13 | 16.5 |
| 3 知人の家 | 1 | 1.3 |
| 4 寄宿舍(飯場) | 8 | 10.1 |
| 5 福祉施設 | 3 | 3.8 |
| 6 シェルター | 6 | 7.6 |
| 7 野宿 | 3 | 3.8 |
| 8 その他 | 4 | 5.1 |
| 有効回答者数 | 79 | 100.0 |
| 不明 | 1 | |
| 合計 | 80 | |

図3 問4 最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りしたのはどこですか



最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りした場所を問うたところ、最も多かったのが「簡易宿泊所」で5割以上を占めた(表3、図3)。続いて、「アパート」で13人(16.5%)、「寄宿舍(飯場)」で8人(10.1%)、「シェルター」で6人(7.6%)となっており、これらの項目が相対的に多くなっている。

また、「その他」の4人中2人は、マンション、自宅と回答しており、「アパート」とあわせると、2割弱は自分の家に居住しているといえる。

表5 問5 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っていますか

| | 人数 | 割合 |
|----------------------|----|-------|
| 1 持っている | 21 | 26.3 |
| 2 以前は持っていたが、今は持っていない | 27 | 33.8 |
| 3 作ったことがない | 32 | 40.0 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

図4 問5 日雇雇用保険手帳（白手帳）を持っていますか

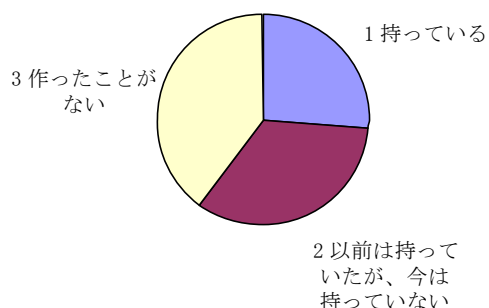


表4、図4は日雇雇用保険手帳（白手帳）の所持について聞いた結果を示したものである。「作ったことがない」と答えた者が最も多く4割を占める。次に多かったのは「以前は持っていたが、今は持っていない」と答えた者で3割強、最も少なかったのは「持っている」と答えた者で2割5分強となっている。

表6 問5-1 日雇雇用保険手帳（白手帳）を持っている場合の今月の認定資格

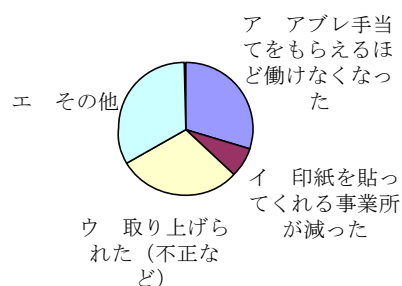
| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| 有 | 8 | 38.1 |
| 無 | 13 | 61.9 |
| 有効回答者数 | 21 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 59 | |
| 合計 | 80 | |

日雇雇用保険手帳（白手帳）を所持していると回答した者に、今月の認定資格の有無を聞いたところ、「有」と回答した者が8人（38.1%）、「無」と回答した者が13人（61.9%）となっていた（表6）。今月の認定資格の無い者が6割強を占めていることがわかる。

表 7 問 5-2 日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた場合の今は持っていない理由

| | 人数 | 割合 |
|------------------------|----|-------|
| ア アブレ手当てをもらえるほど働けなくなった | 8 | 29.6 |
| イ 印紙を貼ってくれる事業所が減った | 2 | 7.4 |
| ウ 取り上げられた(不正など) | 8 | 29.6 |
| エ その他 | 9 | 33.3 |
| 有効回答者数 | 27 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 53 | |
| 合計 | 80 | |

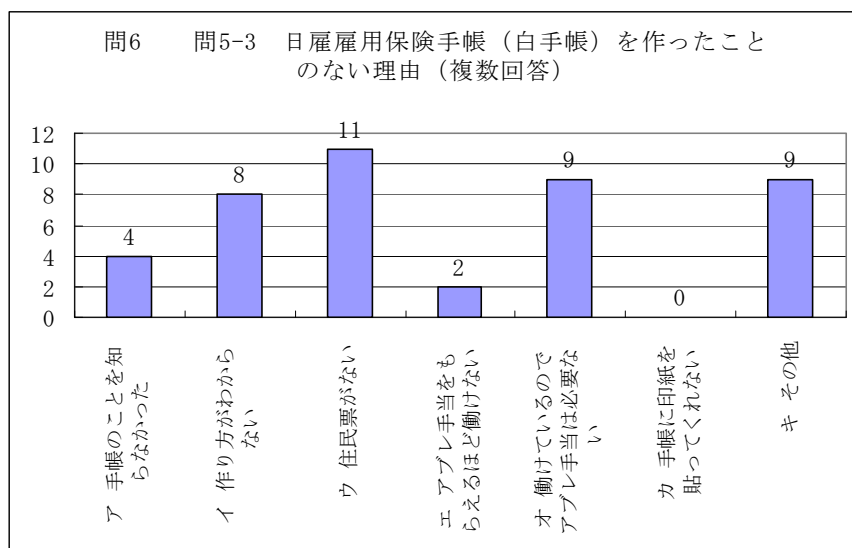
図 5 問 5-2 日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていたが、今は持っていない理由



日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた者に、今は持っていない理由を聞いたところ、「アブレ手当てをもらえるほど働けなくなった」、「取り上げられた(不正など)」がいずれも 8 人で 3 割弱を占めている(表 7、図 5)。

表 8 問 5-3 日雇雇用保険手帳(白手帳)を作ったことのない理由(複数回答)

| | 人数 | 割合 |
|---------------------|----|-------|
| ア 手帳のことを知らなかった | 4 | 12.5 |
| イ 作り方がわからない | 8 | 25.0 |
| ウ 住民票がない | 11 | 34.4 |
| エ アブレ手当をもらえるほど働けない | 2 | 6.3 |
| オ 働けているのでアブレ手当は必要ない | 9 | 28.1 |
| カ 手帳に印紙を貼ってくれない | 0 | 0.0 |
| キ その他 | 9 | 28.1 |
| 有効回答数 | 43 | 134.4 |
| 有効回答者数 | 32 | |
| 非該当 | 48 | |
| 合計 | 80 | |



日雇雇用保険手帳(白手帳)を作ったことがないと回答した者に対して、作ったことのない理由を問うた結果が表 8、図 6 である。「住民票がない」と回答した者が 11 人(34.4%)で最も多かった。また、「働けているのでアブレ手当は必要ない」、「作り方がわからない」と回答した者もそれぞれ 9 人(28.1%)、8 人(25.0%)と 4 分の 1 以上みられた。

表 9 問 6-1 日雇健康保険に加入していますか。(現在)

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| 有 | 6 | 7.5 |
| 無 | 74 | 92.5 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

表 10 問 6-2 建退共手帳に加入していますか。(現在)

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| 有 | 6 | 7.5 |
| 無 | 74 | 92.5 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

表 11 問 6-3 国民健康保険に加入していますか。(現在)

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| 有 | 16 | 20.0 |
| 無 | 64 | 80.0 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

表 12 問 6-4 国民年金に加入していますか。(現在)

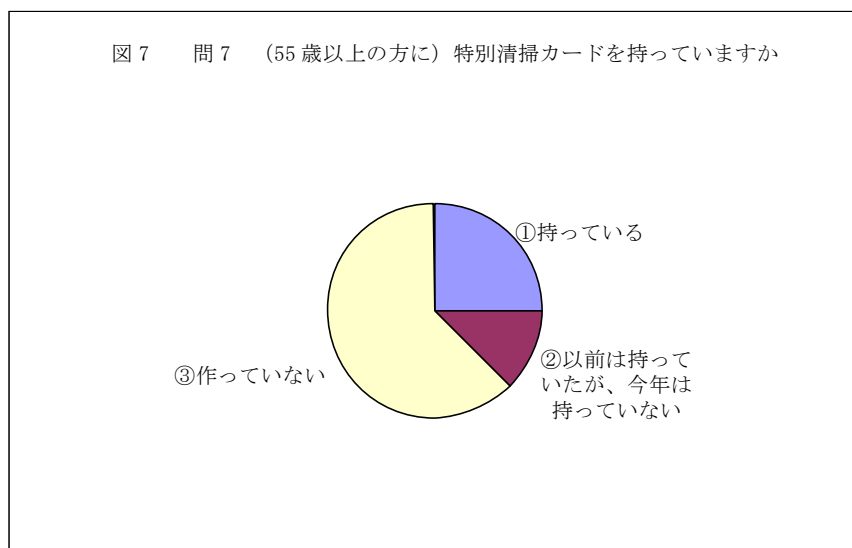
| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| 有 | 9 | 11.3 |
| 無 | 71 | 88.8 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

問 6 では、日雇健康保険、建退共手帳、国民健康保険、国民年金への加入状況について質問している（表 9～12）。いずれも加入していない者が 8～9 割と圧倒的多数を占めている。そのなかで、加入者の割合がもっとも高いのは国民健康保険で、加入者は 16 人

(20.0%) に上っている。

表 13 問 7 (55 歳以上の方に) 特別清掃カードを持っていますか。

| | 人数 | 割合 |
|----------------------|----|-------|
| ①持っている | 12 | 25.0 |
| ②以前は持っていたが、今年は持っていない | 6 | 12.5 |
| ③作っていない | 30 | 62.5 |
| 有効回答者数 | 48 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 32 | |
| 合計 | 80 | |



特別清掃カードを有しているかどうかについて聞いたところ、55 歳以上の者 48 人のうち、「作っていない」と回答した者が 30 人と 6 割以上を占めていた (表 13、図 7)。反対に、「持っている」と回答した者は、4 分の 1 を占めている。

表 14 問 7-1 特別清掃カードを持っている方の輪番への参加状況

| | 人数 | 割合 |
|-----------|----|-------|
| ア いつも来る | 4 | 33.3 |
| イ たまに | 5 | 41.7 |
| ウ めったに来ない | 0 | 0.0 |
| その他 | 3 | 25.0 |
| 有効回答者数 | 12 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 68 | |
| 合計 | 80 | |

図 8 問 7-1 特別清掃カードを持っている方の輪番への参加状況

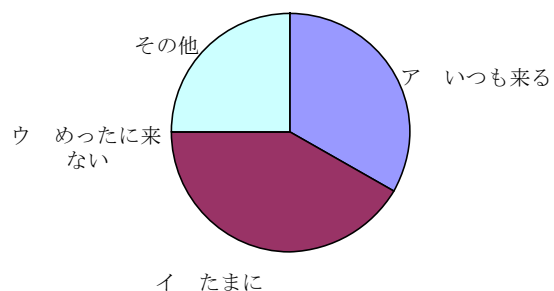
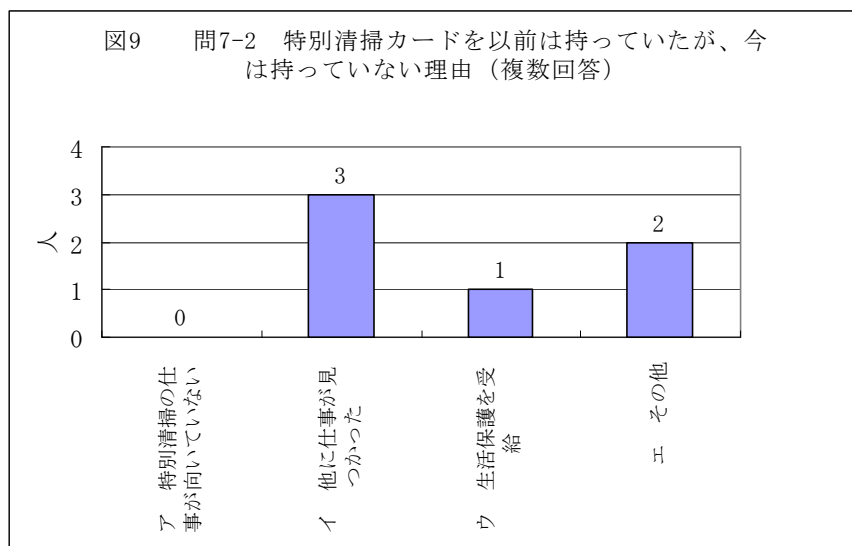


表 14、図 8 は、特別清掃カードを持っていると回答した 12 人に対して、輪番への参加状況を聞いた結果である。これによると、「たまに」と回答した者が 5 人、「いつも来る」と回答した者が 4 人いた。また、「その他」と回答した者 3 人は、いずれも労災による休業中の者であった。

表 15 問 7-2 特別清掃カードを以前は持っていたが、今は持っていない理由(複数回答)

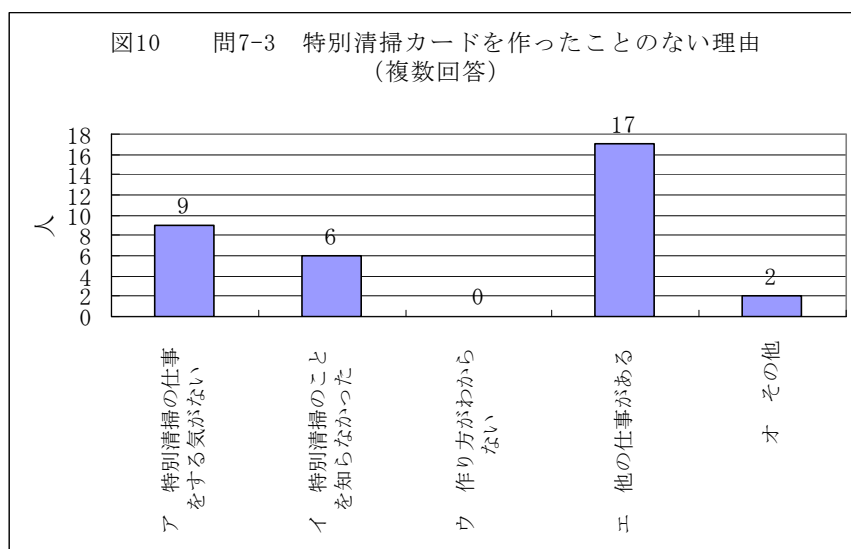
| | 人数 | 割合 |
|------------------|----|-------|
| ア 特別清掃の仕事が向いていない | 0 | 0.0 |
| イ 他に仕事が見つかった | 3 | 50.0 |
| ウ 生活保護を受給 | 1 | 16.7 |
| エ その他 | 2 | 33.3 |
| 有効回答数 | 6 | 100.0 |
| 有効回答者数 | 6 | |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 74 | |
| 合計 | 80 | |



次に、特別清掃カードを以前は持っていたが、今は持っていないと答えた6人に対して、その理由を聞いたところ、「他に仕事が見つかった」が3人で最も多かった(表15、図9)。

表 16 問 7-3 特別清掃カードを作ったことのない理由(複数回答)

| | 人数 | 割合 |
|------------------|----|-------|
| ア 特別清掃の仕事をする気がない | 9 | 30.0 |
| イ 特別清掃のことを知らなかった | 6 | 20.0 |
| ウ 作り方がわからない | 0 | 0.0 |
| エ 他の仕事がある | 17 | 56.7 |
| オ その他 | 2 | 6.7 |
| 有効回答数 | 34 | 113.3 |
| 有効回答者数 | 30 | |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 50 | |
| 合計 | 80 | |

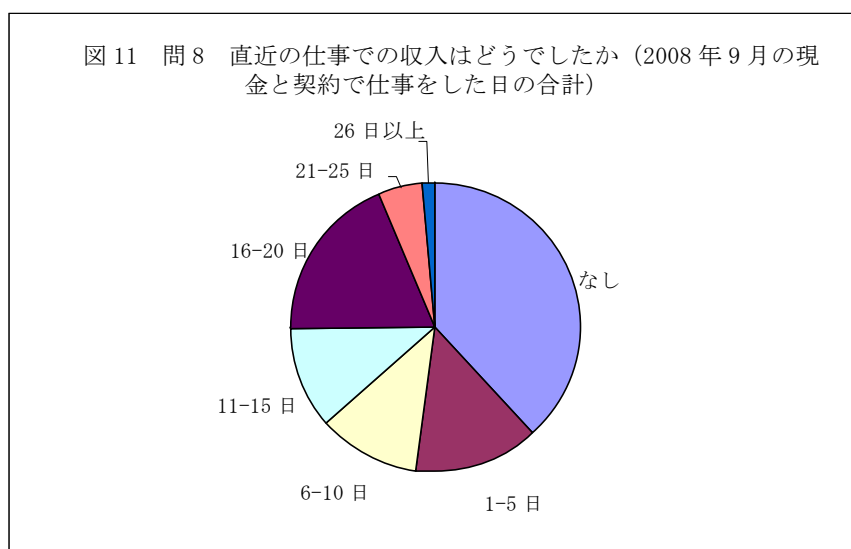


また、特別清掃カードを作ったことがないと回答した 22 人に、その理由を問うたところ、「他の仕事がある」と答えた者が 17 人と半数強を占めた（表 16、図 10）。また、「特別清掃の仕事をする気がない」と答えた者が 9 人、「特別清掃のことを知らなかった」と答えた者が 6 人いた。

表 17 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年9月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| なし | 30 | 38.0 |
| 1-5日 | 11 | 13.9 |
| 6-10日 | 9 | 11.4 |
| 11-15日 | 9 | 11.4 |
| 16-20日 | 15 | 19.0 |
| 21-25日 | 4 | 5.1 |
| 26日以上 | 1 | 1.3 |
| 有効回答者数 | 79 | 100.0 |
| 不明 | 1 | |
| 合計 | 80 | |

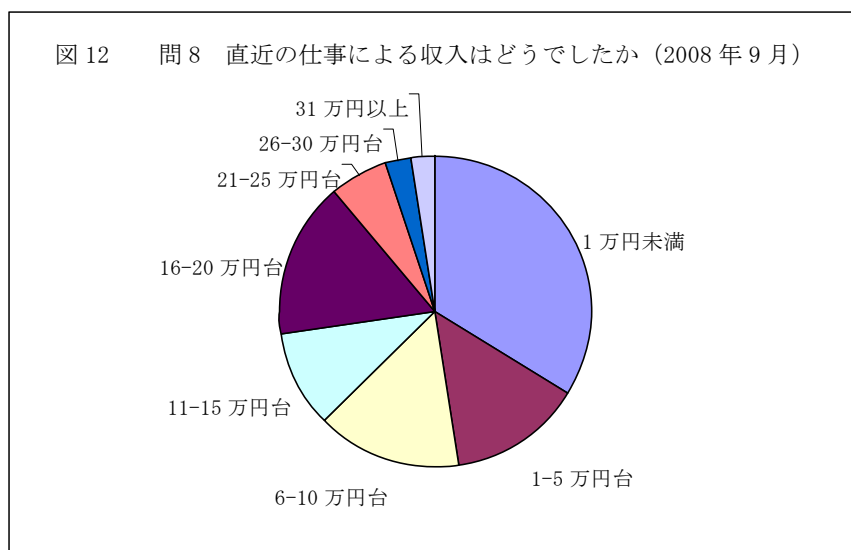


2008年9月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日を合計したところ、仕事になかったと回答した者が最も多く30人と4割弱を占めた(表17、図11)。次に多かったのが「16-20日」と回答した者で2割弱となっている。また、「1-5日」、「6-10日」、「11-15日」、はそれぞれ11人(13.9%)、9人(11.4%)、9人(11.4%)と1割を超している。

表 18 【2008 年 9 月の収入】

| | 人数 | 割合 |
|-----------|----|-------|
| 1 万円未満 | 27 | 33.8 |
| 1-5 万円台 | 11 | 13.8 |
| 6-10 万円台 | 12 | 15.0 |
| 11-15 万円台 | 8 | 10.0 |
| 16-20 万円台 | 13 | 16.3 |
| 21-25 万円台 | 5 | 6.3 |
| 26-30 万円台 | 2 | 2.5 |
| 31 万円以上 | 2 | 2.5 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。



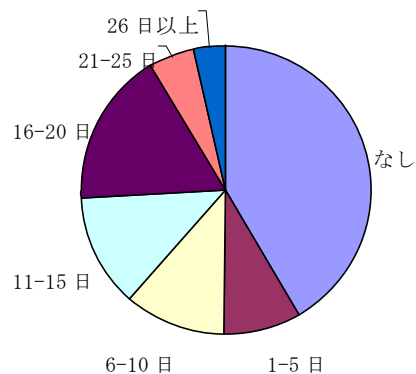
2008 年 9 月の仕事による収入について聞いたところ、最も多かったのは「1 万円未満」と回答した者が 3 割強に上っている (表 18、図 12)。また、「16-20 万円台」、「6-10 万円台」と回答した者は 1 割 5 分を、「1-5 万円台」と回答した者は 1 割を、それぞれ超えている。

表 19 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年10月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| なし | 33 | 41.3 |
| 1-5日 | 7 | 8.8 |
| 6-10日 | 9 | 11.3 |
| 11-15日 | 10 | 12.5 |
| 16-20日 | 14 | 17.5 |
| 21-25日 | 4 | 5.0 |
| 26日以上 | 3 | 3.8 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

図 13 問 8-1 直近の仕事での収入はどうでしたか (2008年10月の現金と契約で仕事をした日の合計)

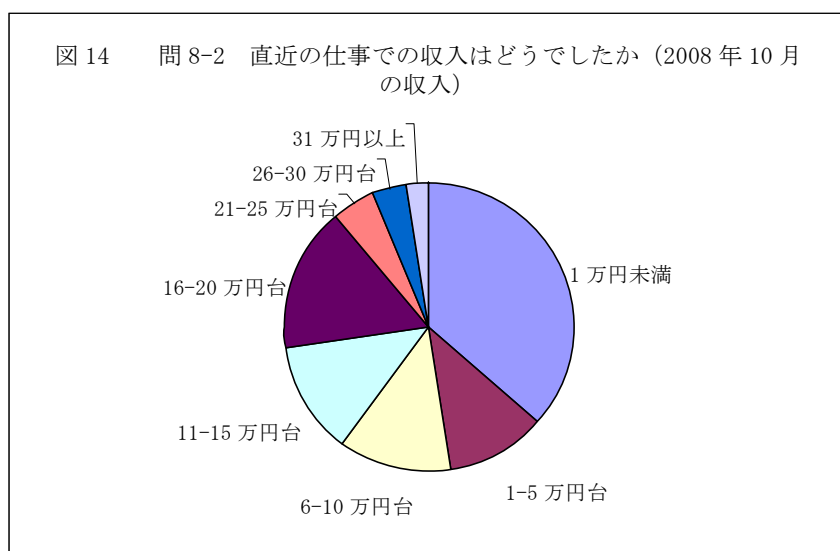


2008年10月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日を合計したところ、仕事が多かったと回答した者が最も多く33人と4割強に上っている(表19、図13)。次に多かったのが「16-20日」と回答した者で14人(17.5%)となっている。また、「11-15日」、「6-10日」はそれぞれ10人(12.5%)、9人(11.3%)と1割強を占めている。

表 20 【2008 年 10 月の収入】

| | 人数 | 割合 |
|-----------|----|-------|
| 1 万円未満 | 29 | 36.3 |
| 1-5 万円台 | 9 | 11.3 |
| 6-10 万円台 | 10 | 12.5 |
| 11-15 万円台 | 10 | 12.5 |
| 16-20 万円台 | 13 | 16.3 |
| 21-25 万円台 | 4 | 5.0 |
| 26-30 万円台 | 3 | 3.8 |
| 31 万円以上 | 2 | 2.5 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。



2008 年 10 月の仕事による収入額について聞いたところ、最も多かったのは「1 万円未満」と回答した者で 3 割 5 分を超えている (表 20、図 14)。また、「16-20 万円台」と回答した者は 1 割 5 分を、「6-10 万円台」、「11-15 万円台」、「1-5 万円台」と回答した者は 1 割をそれぞれ超えている。

表 21 問 9 9月、10月に現金や契約で仕事をしていない理由は何ですか

| | 人数 | 割合 |
|------------------|----|-------|
| ①仕事を探したが見つからなかった | 6 | 20.7 |
| ②仕事を全く探していない | 23 | 79.3 |
| 有効回答者数 | 29 | 100.0 |
| 不明 | 3 | |
| 非該当 | 48 | |
| 合計 | 80 | |

表 21 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていなかった 29 人に対して、仕事を探したかどうかを質問した結果を示したものである。「仕事を全く探していない」と回答した者が 23 人（79.3%）、「仕事を探したが見つからなかった」と回答した者が 6 人（20.7%）となっており、仕事を探していない者が 8 割弱に上っていることがわかる。

表 22 問 9-1 その理由は何ですか(複数回答)

| | 人数 | 割合 |
|-----------------|----|-------|
| ①年齢で断られた(断られる) | 3 | 10.3 |
| ②仕事が少ない | 1 | 3.4 |
| ③健康に不安がある(高血圧等) | 2 | 6.9 |
| ④体力に不安がある | 1 | 3.4 |
| ⑤特別清掃しかできない | 0 | 0.0 |
| ⑥自分の能力に合う仕事がない | 2 | 6.9 |
| ⑦その他 | 23 | 79.3 |
| 有効回答数 | 32 | 110.3 |
| 有効回答者数 | 29 | |
| 不明 | 3 | |
| 非該当 | 48 | |
| 合計 | 80 | |

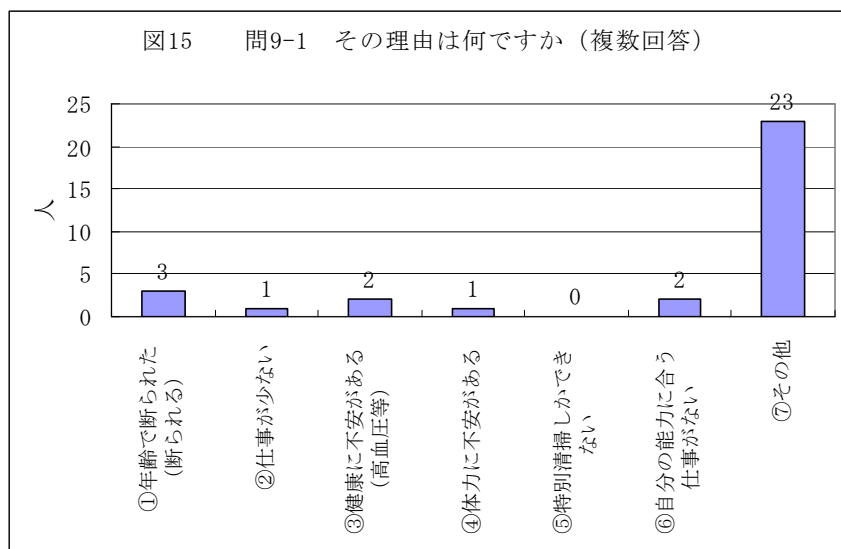
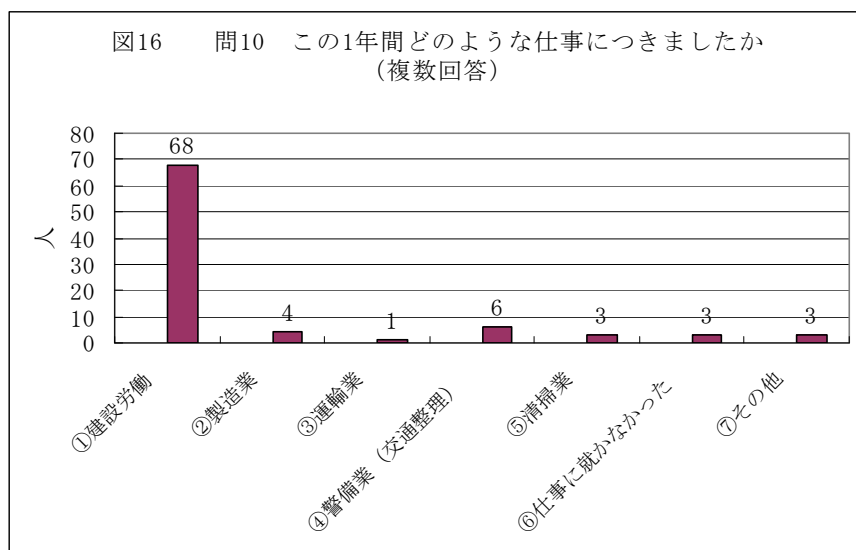


表 22、図 15 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事を
をしていなかった 29 人に対して、その理由を問うた結果を示したものである。これによ
ると、「その他」と回答した者が 8 割弱に達していることがわかる。この内訳をみてみる
と、労災による休業中であった者が多数を占めていた。

表 23 問 10 この 1 年間どのような仕事につきましたか(複数回答)

| | 人数 | 割合 |
|------------|-----|-------|
| ①建設労働 | 68 | 85.0 |
| 土工 | 42 | 52.5 |
| とび工 | 6 | 7.5 |
| 鉄筋工 | 3 | 3.8 |
| 型枠大工 | 8 | 10.0 |
| 解体工 | 16 | 20.0 |
| 職長 | 0 | 0.0 |
| その他職人 | 14 | 17.5 |
| 不明 | 1 | 1.3 |
| ②製造業 | 4 | 5.0 |
| ③運輸業 | 1 | 1.3 |
| ④警備業(交通整理) | 6 | 7.5 |
| ⑤清掃業 | 3 | 3.8 |
| ⑥仕事に就かなかった | 3 | 3.8 |
| ⑦その他 | 3 | 3.8 |
| 有効回答数 | 178 | 222.5 |
| 有効回答者数 | 80 | |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |



この 1 年間にどのような仕事についたかを複数回答で聞いたところ、「建設労働」が 8

割 5 分で圧倒的多数を占めた（表 23、図 16）。「建設労働」の内訳について回答した者のなかでは、「土工」と回答した者が最も多く半数強に上っている。

表 24 問 11 主にどこで仕事を探しますか

| | 人数 | 割合 |
|----------------------|----|-------|
| ①センターの寄場内 | 48 | 64.0 |
| ②センターの周辺路上(あいりん地域内) | 7 | 9.3 |
| ③あいりん地域外 | 4 | 5.3 |
| ④特に決まっていない | 4 | 5.3 |
| ⑤直接現場に行くので仕事を探す場所はない | 12 | 16.0 |
| 有効回答者数 | 75 | 100.0 |
| 不明 | 5 | |
| 合計 | 80 | |

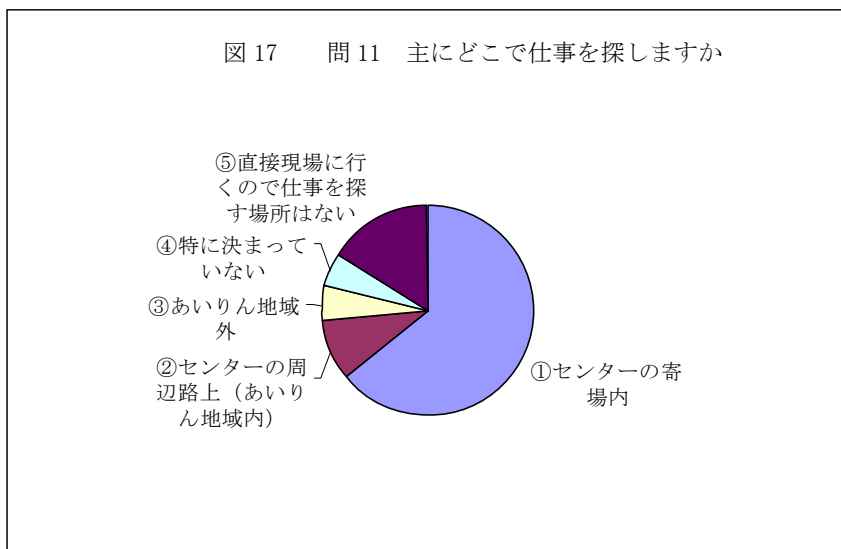


表 24、図 17 は、主にどこで仕事を探しているかを聞いた結果を示したものである。「センターの寄場内」と回答した者が 48 人（64.0%）と多数を占めていることがわかる。また「直接現場に行くので仕事を探す場所はない」と回答した者も 12 人（16.0%）と 1 割 5 分ほどみられた。

表 25 問 11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか

| | 人数 | 割合 |
|---------------------|----|-------|
| ①なじみの業者がいる | 36 | 58.1 |
| ②業者からその場所に来るよう指示がある | 1 | 1.6 |
| ③業者からの声がかかりやすい | 8 | 12.9 |
| ④仲間や知人がいる | 5 | 8.1 |
| ⑤特に理由はない | 7 | 11.3 |
| ⑥その他 | 5 | 8.1 |
| 有効回答者数 | 62 | 100.0 |
| 不明 | 2 | |
| 非該当 | 16 | |
| 合計 | 80 | |

図 18 問 11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか

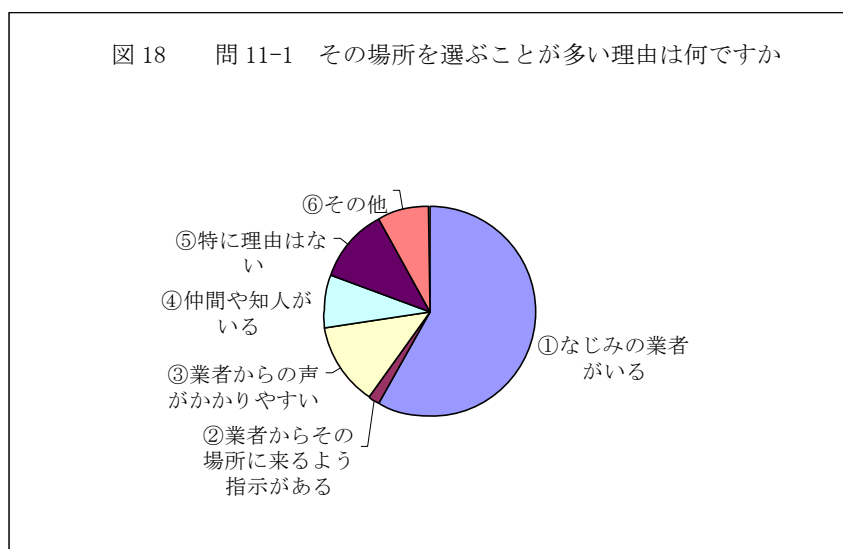


表 25、図 18 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、その場所を選んだ理由について聞いた結果を示したものである。「なじみの業者がいる」と回答した者が 6 割弱と最も多くなっている。また、「業者からの声がかかりやすい」、「特に理由はない」と回答した者もそれぞれ 1 割を超えている。

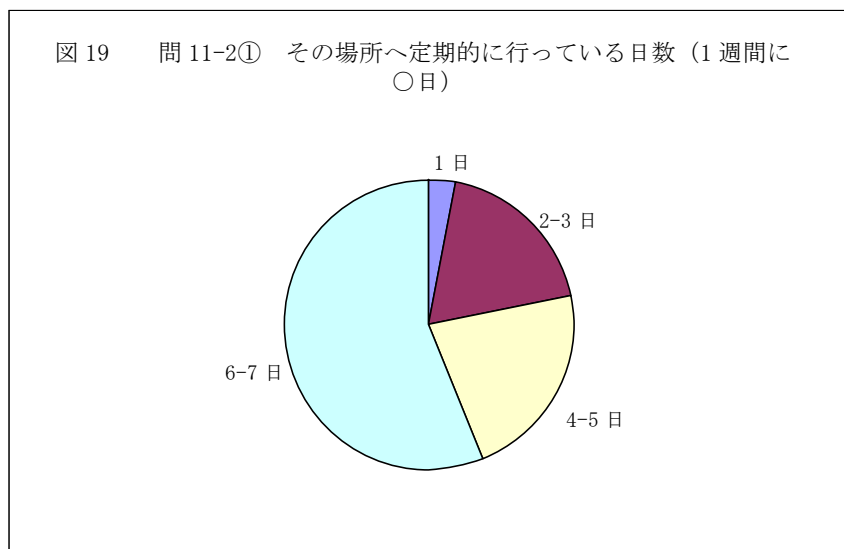
表 26 問 11-2 その場所へは、定期的に行っていますか

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| ①はい | 38 | 61.3 |
| ②いいえ | 24 | 38.7 |
| 有効回答者数 | 62 | 100.0 |
| 不明 | 2 | |
| 非該当 | 16 | |
| 合計 | 80 | |

表 26 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、そこへ定期的に行っているかどうかについてみたものである。「はい」と回答した者が 38 人（61.3%）と 6 割以上を占めている。

表 27 問 11-2① その場所へ定期的に行っている日数(1 週間に○日)

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| 1 日 | 1 | 3.1 |
| 2-3 日 | 6 | 18.8 |
| 4-5 日 | 7 | 21.9 |
| 6-7 日 | 18 | 56.3 |
| 有効回答者数 | 32 | 100.0 |
| 不明 | 6 | |
| 非該当 | 42 | |
| 合計 | 80 | |



主に仕事を探す場所が決まっている者が、その場所へ定期的に行っている場合、その日数を聞いたところ、1週間あたり「6・7日」と回答した者が半数を超えた（表 27、図 19）。また「4・5日」、「2・3日」と回答した者も約2割に上っている。

1週間の半数以上、決まった場所へ行っている者が8割弱に上っていることがわかる。

表 28 問 12 なじみの事業所(よく行く働き先)はありますか

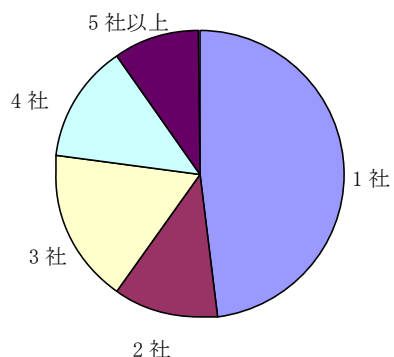
| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| ①ある | 56 | 70.9 |
| ②ない | 23 | 29.1 |
| 有効回答者数 | 79 | 100.0 |
| 不明 | 1 | |
| 合計 | 80 | |

なじみの事業所の有無について聞いたところ、「ある」と回答した者が56人（70.9%）となっていた（表 28）。7割以上の者がなじみの事業所（よく行く働き先）を有していることがわかる。

表 29 問 12① なじみの事業所(よく行く働き先)がある場合の事業所数

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| 1社 | 25 | 48.1 |
| 2社 | 6 | 11.5 |
| 3社 | 9 | 17.3 |
| 4社 | 7 | 13.5 |
| 5社以上 | 5 | 9.6 |
| 有効回答者数 | 52 | 100.0 |
| 不明 | 4 | |
| 非該当 | 24 | |
| 合計 | 80 | |

図 20 問 12① なじみの事業所（よく行く働き先）がある場合の事業所数

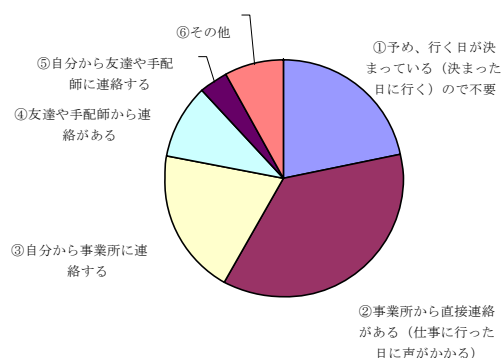


なじみの事業所があると回答した者に、その数を聞いたところ「1社」と回答した者が最も多く、半数弱を占めている（表 29、図 20）。また、「3社」、「4社」、「2社」と回答した者もそれぞれ9人（17.3%）、7人（13.5%）、6人（11.5%）みられた。

表 30 問 12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか

| | 人数 | 割合 |
|------------------------------|----|-------|
| ①予め、行く日が決まっている(決まった日に行く)ので不要 | 11 | 22.0 |
| ②事業所から直接連絡がある(仕事に行った日に声がかかる) | 18 | 36.0 |
| ③自分から事業所に連絡する | 10 | 20.0 |
| ④友達や手配師から連絡がある | 5 | 10.0 |
| ⑤自分から友達や手配師に連絡する | 2 | 4.0 |
| ⑥その他 | 4 | 8.0 |
| 有効回答者数 | 50 | 100.0 |
| 不明 | 6 | |
| 非該当 | 24 | |
| 合計 | 80 | |

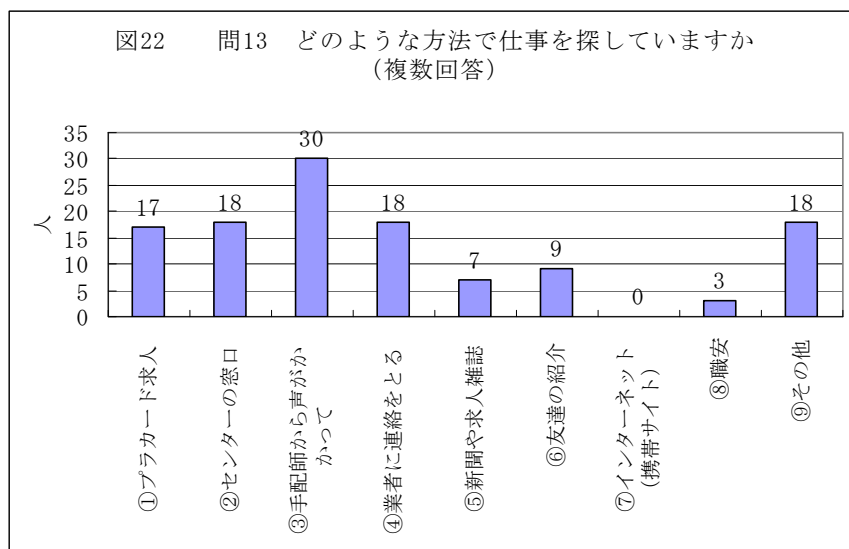
図 21 問 12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか



さらに、その事業所に行くことはどうやって決めるかを聞いたところ、「事業所から直接連絡がある（仕事に行った日に声がかかる）」と回答した者が最も多く 18 人（36.0%）に上っている（表 30、図 21）。また「予め、行く日が決まっている（決まった日に行く）ので不要」、「自分から事業所に連絡する」と回答した者がそれぞれ 2 割を超えている。

表 31 問 13 どのような方法で仕事を探していますか（複数回答）

| | 人数 | 割合 |
|-----------------|-----|-------|
| ①プラカード求人 | 17 | 21.5 |
| ②センターの窓口 | 18 | 22.8 |
| ③手配師から声がかかって | 30 | 38.0 |
| ④業者に連絡をとる | 18 | 22.8 |
| ⑤新聞や求人雑誌 | 7 | 8.9 |
| ⑥友達の紹介 | 9 | 11.4 |
| ⑦インターネット（携帯サイト） | 0 | 0.0 |
| ⑧職安 | 3 | 3.8 |
| ⑨その他 | 18 | 22.8 |
| 有効回答数 | 120 | 151.9 |
| 有効回答者数 | 79 | |
| 不明 | 1 | |
| 合計 | 80 | |



どのような方法で仕事を探しているかを複数回答で聞いたところ、「手配師から声がかかって」と回答した者が最も多く 30 人 (38.0%) に上った (表 31、図 22)。また、「センターの窓口求人」、「業者に連絡をとる」、「プラカード求人」と回答した者も、それぞれ 2 割を超えていることがわかる。

表 32 問 14 携帯電話で仕事探しをしたり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがありますか

| | 人数 | 割合 |
|------------------|----|-------|
| ①ある | 30 | 38.0 |
| ②ない(携帯電話を持っていない) | 49 | 62.0 |
| 有効回答者数 | 79 | 100.0 |
| 不明 | 1 | |
| 合計 | 80 | |

表 32 は、携帯電話で仕事を探したり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがあるかどうかを聞いた結果を示したものである。「ある」と回答したものが 30 人 (38.0%)、「ない (携帯電話を持っていない)」と回答した者が 49 人 (62.0%) となっており、携帯電話を有している者は 4 割弱であることがわかる。

表 33 問 15 仕事を探す時プラカードを参考にしますか？

| | 人数 | 割合 |
|----------------|----|-------|
| ①参考にしている | 40 | 50.0 |
| ②参考にしていない | 6 | 7.5 |
| ③自分にとっては関係ない | 31 | 38.8 |
| ④プラカードが何かわからない | 3 | 3.8 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

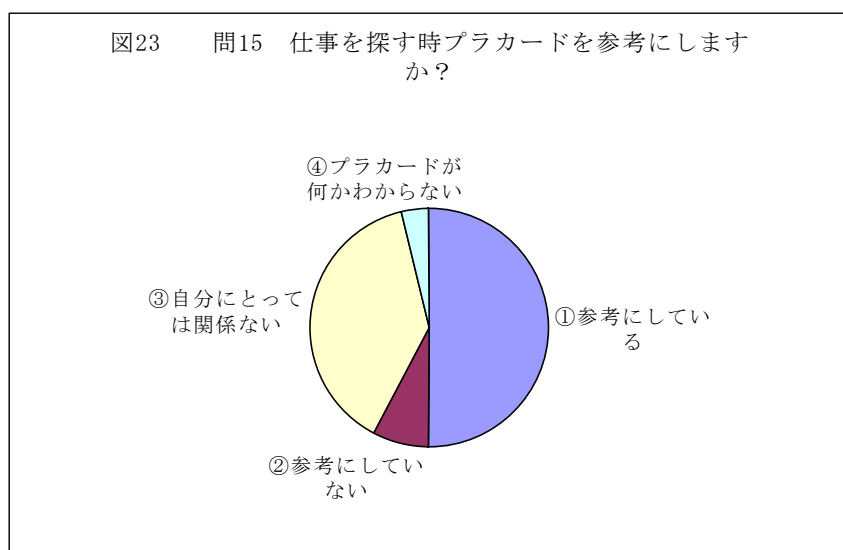
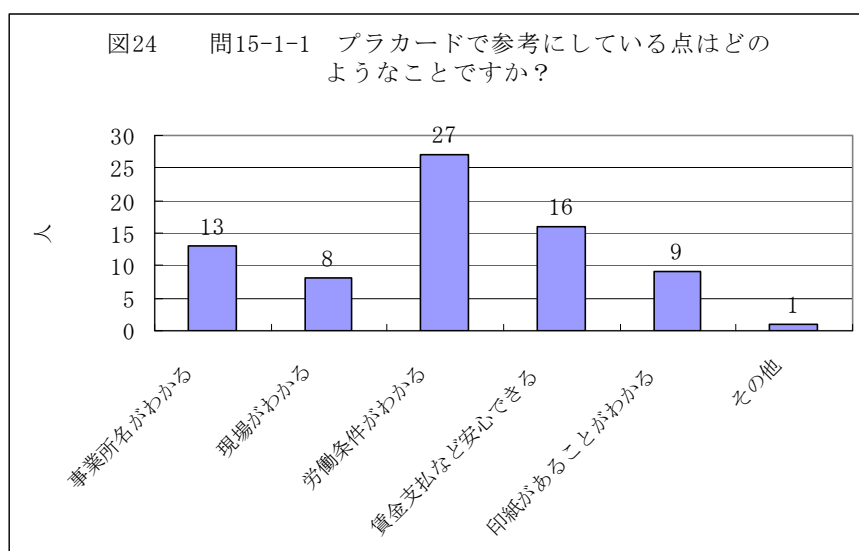


表 33、図 23 は、仕事を探す時に、プラカードを参考にするかどうかを聞いた結果を示したものである。「参考にしている」と回答した者が 40 人 (50.0%) で半数に上っている。一方で、「自分にとっては関係ない」と回答した者も 31 人 (38.8%) と 4 割弱に上っている。

表 34 問 15-1-1 プラカードで参考としている点はどのようなことですか？(複数回答)

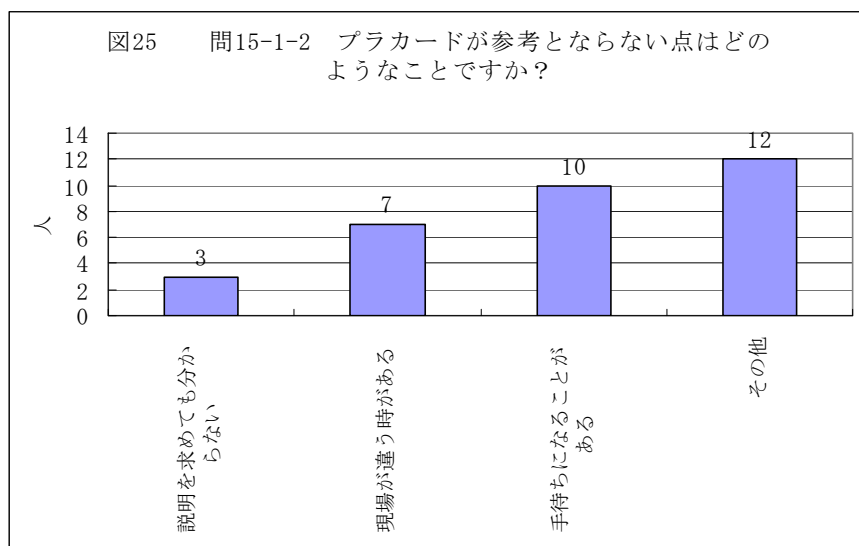
| | 人数 | 割合 |
|-------------|----|-------|
| 事業所名がわかる | 13 | 36.1 |
| 現場がわかる | 8 | 22.2 |
| 労働条件がわかる | 27 | 75.0 |
| 賃金支払など安心できる | 16 | 44.4 |
| 印紙があることがわかる | 9 | 25.0 |
| その他 | 1 | 2.8 |
| 有効回答数 | 74 | 205.6 |
| 有効回答者数 | 36 | |
| 不明 | 4 | |
| 非該当 | 40 | |
| 合計 | 80 | |



仕事を探す時に、プラカードを参考になっている者に対して、プラカードで参考になっている点はどのようなことかを聞いた結果を示したのが表 34、図 24 である。「労働条件がわかる」と回答した者が 27 人 (75.0%) で最も多かった。次いで、「賃金支払など安心できる」が 16 人 (44.4%)、「事業所名がわかる」が 13 人 (36.1%)、「印紙があることがわかる」が 9 人 (25.0%)、「現場がわかる」が 8 人 (22.2%) となっている。

表 35 問 15-1-2 プラカードが参考とならない点はどのようなことですか？

| | 人数 | 割合 |
|--------------|----|-------|
| 説明を求めても分からない | 3 | 11.5 |
| 現場が違う時がある | 7 | 26.9 |
| 手待ちになることがある | 10 | 38.5 |
| その他 | 12 | 46.2 |
| 有効回答数 | 32 | 123.1 |
| 有効回答者数 | 26 | |
| 不明 | 20 | |
| 非該当 | 34 | |
| 合計 | 80 | |



仕事を探す時に、プラカードを参考に行っている者と、参考に行っていない者に対して、プラカードが参考とならない点はどのようなことかを聞いた結果を示したのが表 35、図 25 である。最も多かったのが「その他」で 12 人 (46.2%) であったが、そのうち一定数を占めたのはプラカードの内容が事実と異なっている点があるという点であった。次いで「手待ちになることがある」が 10 人 (38.5%)、「現場が違う時がある」が 7 人 (26.9%)、「説明を求めても分からない」が 3 人 (11.5%) となっている。

表 36 問 16 西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っていますか

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| ①知っている | 65 | 81.3 |
| ②知らない | 15 | 18.8 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

表 36 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っているかどうかを聞いた結果を示したものである。「知っている」と回答した者が 53 人（96.4%）と 9 割 5 分を超え圧倒的多数を占めていた。

表 37 問 16-1 窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか（複数回答）

| | 人数 | 割合 |
|--------------------------|----|-------|
| ①抽選紹介ではなく技能に応じた紹介にしてほしい | 6 | 9.2 |
| ②紹介の時間帯を変えてほしい | 5 | 7.7 |
| ③仕事の内容をもっと詳しく説明してほしい | 13 | 20.0 |
| ④宿舎（寄宿舍）の状況をもっと詳しく教えてほしい | 15 | 23.1 |
| ⑤携帯電話で求人内容を見れるようにしてほしい | 2 | 3.1 |
| ⑥その他 | 14 | 21.5 |
| ⑦特にない | 26 | 40.0 |
| 有効回答数 | 81 | 124.6 |
| 有効回答者数 | 65 | |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 15 | |
| 合計 | 80 | |

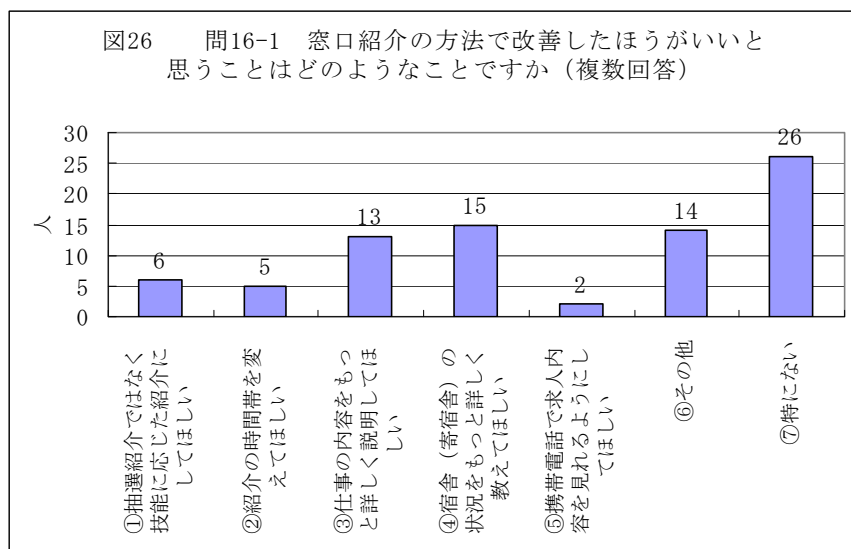
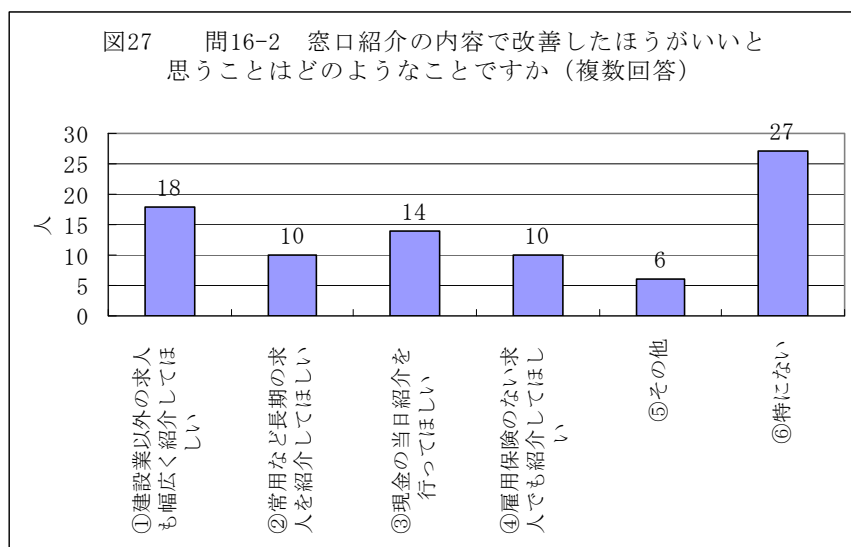


表 37、図 26 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っている者に対して、窓口紹介の方法で改善したほうが良いと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いた結果を示したものである。「特にない」が最多で4割に上っている。「宿舍（寄宿舎）の状況をもっと詳しく教えてほしい」、「仕事の内容をもっと詳しく教えてほしい」、と回答した者も2割ほどみられた。

表 38 問 16-2 窓口紹介の内容で改善したほうが良いと思うことはどのようなことですか（複数回答）

| | 人数 | 割合 |
|----------------------|----|-------|
| ①建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい | 18 | 27.7 |
| ②常用など長期の求人を紹介してほしい | 10 | 15.4 |
| ③現金の当日紹介を行ってほしい | 14 | 21.5 |
| ④雇用保険のない求人でも紹介してほしい | 10 | 15.4 |
| ⑤その他 | 6 | 9.2 |
| ⑥特にない | 27 | 41.5 |
| 有効回答数 | 85 | 130.8 |
| 有効回答者数 | 65 | |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 15 | |
| 合計 | 80 | |



さらに、窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いたところ、「特にない」と回答した者が 27 人 (41.5%) で最も多かった。次いで、「建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい」が 18 人 (27.7%)、「現金の当日紹介を行ってほしい」が 14 人 (21.5%)、「常用など長期の求人を紹介してほしい」が 10 人 (15.4%)、「雇用保険のない求人でも紹介してほしい」が 10 人 (15.4%) となっている。

表 39 問 17 西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う(週 1 日以上)施設は、どこですか(複数回答)

| | 人数 | 割合 |
|---------------|-----|-------|
| ①あいりん職安 | 15 | 18.8 |
| ②玉出社会保険事務所の窓口 | 3 | 3.8 |
| ③食堂、売店 | 34 | 42.5 |
| ④理髪店 | 2 | 2.5 |
| ⑤ロッカールーム | 3 | 3.8 |
| ⑥シャワールーム | 7 | 8.8 |
| ⑦その他 | 13 | 16.3 |
| ⑧特にない | 26 | 32.5 |
| 有効回答数 | 103 | 128.8 |
| 有効回答者数 | 80 | |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

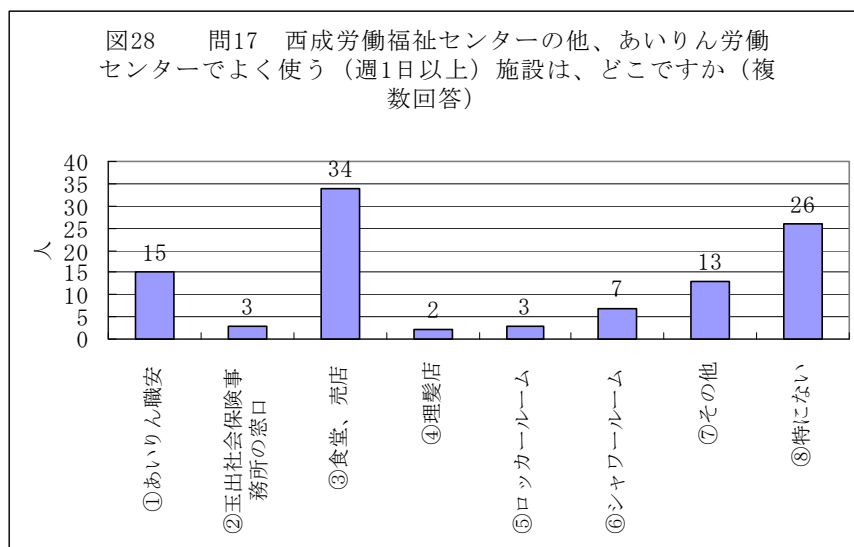
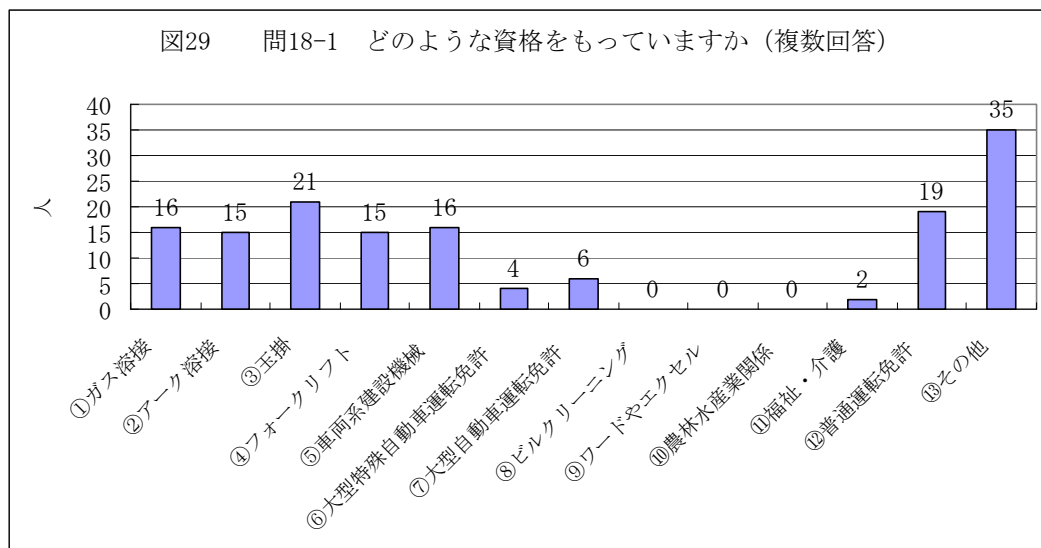


表 39、図 28 は、西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う（週 1 日以上）施設はどこかを、複数回答で聞いた結果を示したものである。「食堂、売店」が 34 人（42.5%）で最も多くなっている。次に多いのが「あいりん職安」で 15 人（18.8%）と 2 割弱を占めている。

表 40 問 18-1 どのような資格を持っていますか(複数回答)

| | 人数 | 割合 |
|--------------|-----|-------|
| ①ガス溶接 | 16 | 29.1 |
| ②アーク溶接 | 15 | 27.3 |
| ③玉掛 | 21 | 38.2 |
| ④フォークリフト | 15 | 27.3 |
| ⑤車両系建設機械 | 16 | 29.1 |
| ⑥大型特殊自動車運転免許 | 4 | 7.3 |
| ⑦大型自動車運転免許 | 6 | 10.9 |
| ⑧ビルクリーニング | 0 | 0.0 |
| ⑨ワードやエクセル | 0 | 0.0 |
| ⑩農林水産業関係 | 0 | 0.0 |
| ⑪福祉・介護 | 2 | 3.6 |
| ⑫普通運転免許 | 19 | 34.5 |
| ⑬その他 | 35 | 63.6 |
| 有効回答数 | 149 | 270.9 |
| 有効回答者数 | 55 | |
| 不明・無回答 | 25 | |
| 合計 | 80 | |

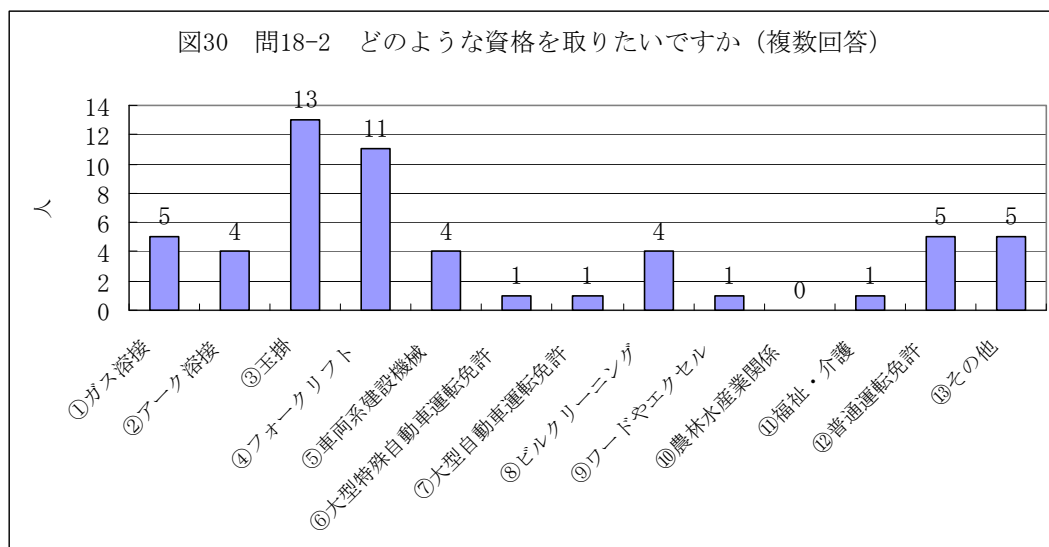


どのような資格を持っているのかを複数回答で聞いた結果を示したのが表 40、図 29 である。「その他」が最も多いものの、次に多いのが「玉掛」で 21 人 (38.2%)、「普通運転免許」で 19 人 (34.5%)、「ガス溶接」が 16 人 (29.1%)、「車両系建設機械」が 16 人 (29.1%)、

「アーク溶接」が 15 人 (27.3%)、「フォークリフト」が 15 人 (27.3%) となっている。
 一方、資格を有している者がいなかったのが「ビルクリーニング」、「ワードやエクセル」、
 「農林水産業関係」で、資格を有している者が 2 人 (3.6%) であったものが「福祉・介
 護」であった。

表 41 問 18-2 どのような資格を取りたいですか(複数回答)

| | 人数 | 割合 |
|--------------|----|-------|
| ①ガス溶接 | 5 | 15.2 |
| ②アーク溶接 | 4 | 12.1 |
| ③玉掛 | 13 | 39.4 |
| ④フォークリフト | 11 | 33.3 |
| ⑤車両系建設機械 | 4 | 12.1 |
| ⑥大型特殊自動車運転免許 | 1 | 3.0 |
| ⑦大型自動車運転免許 | 1 | 3.0 |
| ⑧ビルクリーニング | 4 | 12.1 |
| ⑨ワードやエクセル | 1 | 3.0 |
| ⑩農林水産業関係 | 0 | 0.0 |
| ⑪福祉・介護 | 1 | 3.0 |
| ⑫普通運転免許 | 5 | 15.2 |
| ⑬その他 | 5 | 15.2 |
| 有効回答数 | 55 | 166.7 |
| 有効回答者数 | 33 | |
| 不明・無回答 | 47 | |
| 合計 | 80 | |

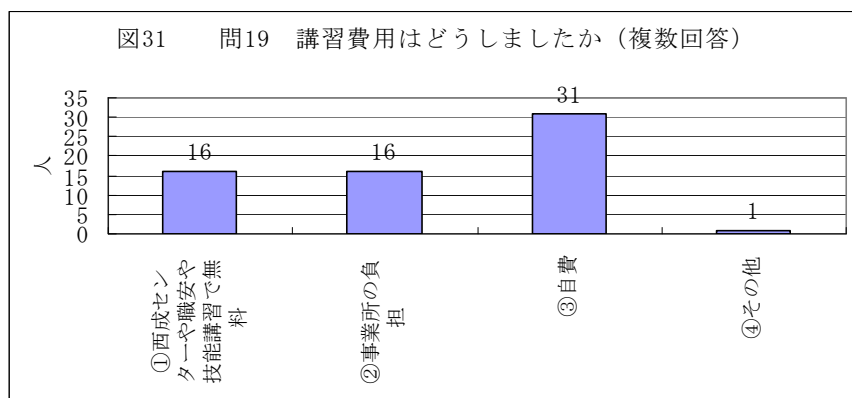


次に、どのような資格を取りたいかについて質問した結果を示したのが表 41、図 30 である。「玉掛」、「フォークリフト」が、それぞれ 13 人（39.4%）、11 人（33.3%）で突出している。次いで、「ガス溶接」が 5 人（15.2%）、「普通運転免許」が 5 人（15.2%）、「アーク溶接」が 4 人（12.1%）、「車両系建設機械」が 4 人（12.1%）、「ビルクリーニング」が 4 人（12.1%）となっている。

とくに、実際に取得している者が少なかった資格に関しては、「ビルクリーニング」の資格を取りたいと回答した者が 4 人（12.1%）みられた。

表 42 問 19 講習費用はどうしましたか(複数回答)

| | 人数 | 割合 |
|--------------------|----|-------|
| ①西成センターや職安や技能講習で無料 | 16 | 27.6 |
| ②事業所の負担 | 16 | 27.6 |
| ③自費 | 31 | 53.4 |
| ④その他 | 1 | 1.7 |
| 有効回答数 | 64 | 110.3 |
| 有効回答者数 | 58 | |
| 不明・非該当 | 22 | |
| 合計 | 80 | |



前問で何らかの資格を取得していると回答した者に対して、その講習費用をどうしたのかについて複数回答で聞いた結果を示したのが表 42、図 31 である。「自費」が 31 人（53.4%）と半数以上に上っている。次いで「西成センターや職安や技能講習で無料」、「事業所の負担」と回答した者がそれぞれ 16 人（27.6%）となっている。

表 43 問 20 会社勤めなど常用の仕事を希望していますか

| | 人数 | 割合 |
|----------|----|-------|
| ①希望している | 44 | 55.0 |
| ②希望していない | 36 | 45.0 |
| 有効回答者数 | 80 | 100.0 |
| 不明 | 0 | |
| 合計 | 80 | |

表 43 は、会社勤めなど常用の仕事を希望しているかどうかについてみたものである。「希望している」と回答した者が 44 人（55.0%）と 5 割 5 分を占め、「希望していない」と回答した者が 36 人（45.0%）と 4 割強を占めている。

表 44 問 20-1 希望する職種は何ですか(複数回答)

| | 人数 | 割合 |
|--------|----|-------|
| ①建設業 | 20 | 45.5 |
| ②製造業 | 14 | 31.8 |
| ③運輸業 | 9 | 20.5 |
| ④清掃業 | 12 | 27.3 |
| ⑤警備業 | 5 | 11.4 |
| ⑥農林漁業 | 1 | 2.3 |
| ⑦事務 | 0 | 0.0 |
| ⑧その他 | 6 | 13.6 |
| 有効回答数 | 67 | 152.3 |
| 有効回答者数 | 44 | |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 36 | |
| 合計 | 80 | |

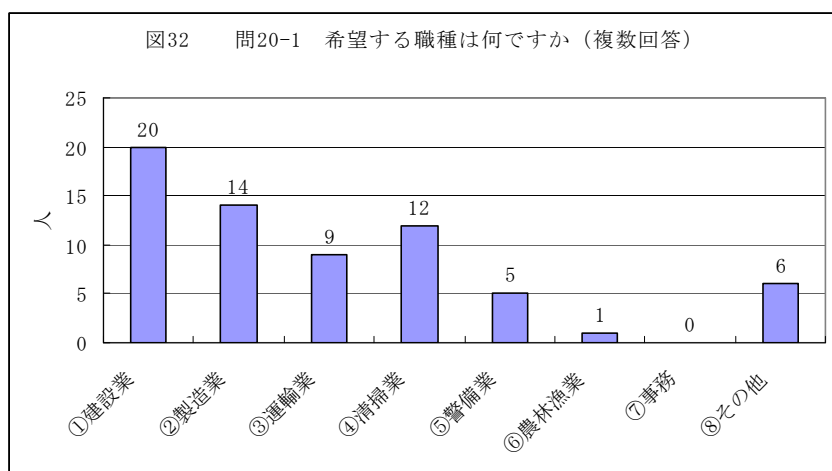


表 44、図 32 は、会社勤めなど常用の仕事を希望していると回答した者に対して、希望する職種を複数回答で聞いた結果を示したものである。「建設業」と回答した者が最も多く半数弱を占めていた。次いで、「製造業」が 14 人 (31.8%)、「清掃業」が 12 人 (27.3%)、「運輸業」 9 人 (20.5%) となっている。

表 45 問 20-2 常用就職するために、どのような手助けがほしいでしょうか(複数回答)

| | 人数 | 割合 |
|-----------------------------------|-----|-------|
| ①技能講習 | 10 | 22.7 |
| ②現場実習訓練 | 4 | 9.1 |
| ③教養講座 | 0 | 0.0 |
| ④求人情報の提供 | 14 | 31.8 |
| ⑤自分に向けた就職のあっせん | 18 | 40.9 |
| ⑥適性相談(キャリアカウンセリング) | 1 | 2.3 |
| ⑦就職活動のノウハウの提供(履歴書の書き方や面接への対応方法など) | 3 | 6.8 |
| ⑧当座の生活資金の援助 | 19 | 43.2 |
| ⑨住宅借上げの支援(保証人) | 19 | 43.2 |
| ⑩就職に当たっての身元保証 | 6 | 13.6 |
| ⑪就職後の相談支援 | 8 | 18.2 |
| ⑫その他 | 3 | 6.8 |
| 有効回答数 | 105 | 238.6 |
| 有効回答者数 | 44 | |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 36 | |
| 合計 | 80 | |

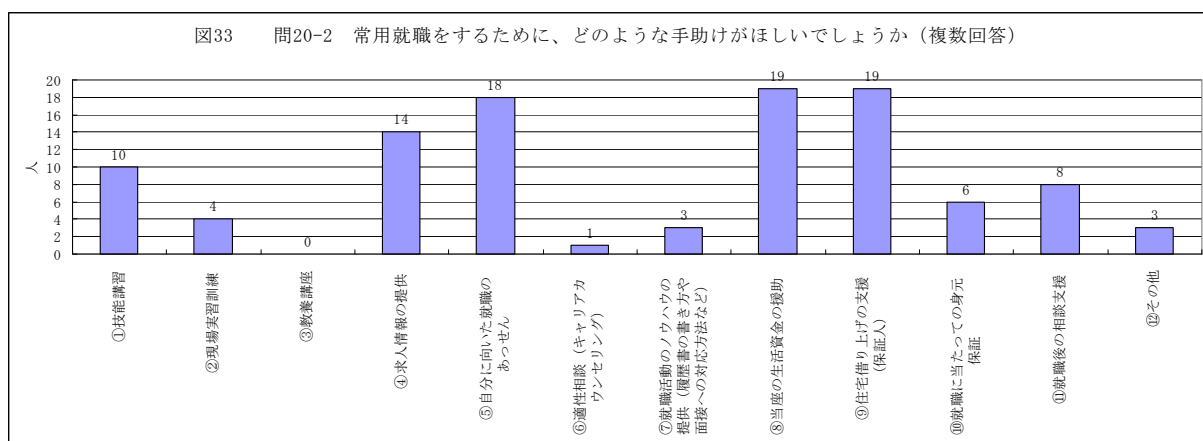
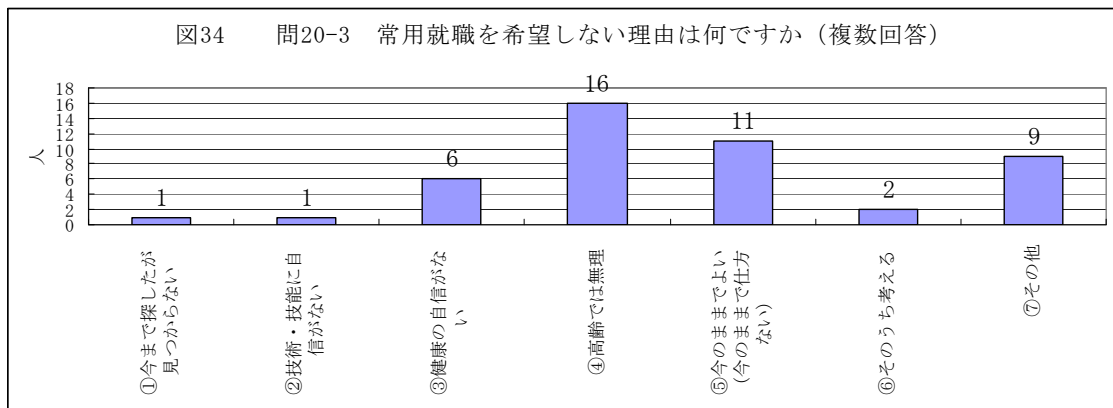


表 45、図 33 は、会社勤めなど常用の仕事我希望すると回答したものに対して、常用就職するために、どのような手助けがほしいかを複数回答で聞いた結果を示したものである。最も多かったのが「当座の生活資金の援助」と「住宅借上げの支援(保証人)」でいずれも 19 人(43.2%)であった。次いで、「自分に向けた就職のあっせん」が 18 人(40.9%)、

「求人情報の提供」が14人（31.8%）となっている。

表 46 問 20-3 常用就職を希望しない理由は何ですか（複数回答）

| | 人数 | 割合 |
|---------------------|----|-------|
| ①今まで探したが見つからない | 1 | 2.8 |
| ②技術・技能に自信がない | 1 | 2.8 |
| ③健康の自信がない | 6 | 16.7 |
| ④高齢では無理 | 16 | 44.4 |
| ⑤今のままでよい(今のままで仕方ない) | 11 | 30.6 |
| ⑥そのうち考える | 2 | 5.6 |
| ⑦その他 | 9 | 25.0 |
| 有効回答数 | 46 | 127.8 |
| 有効回答者数 | 36 | |
| 不明 | 0 | |
| 非該当 | 44 | |
| 合計 | 80 | |



会社勤めなど常用の仕事を希望しないと回答した者に対して、常用就職を希望しない理由を複数回答で聞いた結果を示したのが、表 46、図 34 である。「高齢では無理」と回答した者が 16 人（44.4%）で 4 割を超えている。次に多かったのが「今のままでよい（今のままで仕方ない）」で 11 人（30.6%）になっている。